

令和元年度最上校卒業証書授与式 答辞

卒業生代表 大花 麗

例年より暖かく、春の訪れをより感じる季節になりました。この良き日に卒業を迎えられること、とても嬉しく思います。先生方をはじめとする皆様、本日はご参列頂き誠にありがとうございます。

三年前、私たちは真新しい制服に身を包み、この最上校の新入生として初めてクラスメイトと顔を合わせました。入学そうそう、私たちの学年は一人一人個性を發揮しており、坂野先生を初め先生方は驚かれることが多かったのではないでしようか。あれから三年、私たちには多くの思い出が生まれました。

最上校の大きな行事の一つである親子ふれあい運動会。初めて名前を聞いた時は、何とも高校生としては可愛すぎる行事名に驚きました。三年生の時には、雨天のため、これまで経験のない体育館での運動会になりましたが、変化を樂しみに変えて良い思い出を作ることができました。

二年生の修学旅行では、関西方面へ行き、三泊四日の日程の中でさらに友情を深めることが出来ました。鹿に追いかけられる人がいたり、先生方が稲荷名物のすずめを食べたり、忘れられない思い出が沢山ありました。

高校生最後の行事である文化祭では、一人一人が個性を生かして今まで以上に最高のステージをつくることが出来ました。先生方が行事に対して全力で臨んでくれるからこそ、私達も全力で臨むことが出来ました。

思えば最上校に入学した頃は、学習面や部活動、様々なことで迷惑や心配をかけ、先生方を怒らせてしまうことも沢山ありました。三年生の先生方は、私達のことを第一に考えてくれる優しく頼れる先生です。こんな先生達の熱心

な指導の元、私たちはお互いに歩みよることを覚え、男女ともに仲が良く、楽しく笑顔の絶えないクラスにまとまる事が出来たのだと思います。坂野先生、結城先生、鈴木先生、本当にありがとうございます。

在校生の皆さん、皆さんの協力で今まで様々な行事を成功させてくれることが出来ました。本当にありがとうございます。これから皆さんがこの歴史ある最上校を担っていく番です。人数が少ないからこそ出来る事が沢山あります。一人一人力を合わせ、最上校の伝統を守ると共に、さらに発展させてくれると信じています。

今日まで育ててくださった保護者の皆さん、本当にありがとうございます。これから私たちはそれぞれの道へ進みます。常に前進し、一日でも早く自立した人間になれるよう頑張っていきます。

三年生のみんな、三年間をこのクラスで一緒に過ごすことが出来てとても幸せでした。みんなと笑って泣いた楽しかった日々を決して忘れることはありません。明日から毎日のようには会えなくなると思うと、とても寂しいです。これから辛いことや上手いかないことが沢山あると思います。そんな時はこの三年間を思い出してみてください。きつと笑えるはずですよ。決して折れずに自分の思うままにそれぞれの道で頑張っていきましょう。

本日は新型コロナウイルス感染防止のため、例年と違った式典となりました。ですが、こうして卒業式を挙行して頂いたことを感謝しなければいけません。数年後、今日のことを笑って話せる日がきつとくるでしょう。この騒動が静まり、早くいつもの日常が遅れることを願っています。

結びに、最上校のより一層の発展と、私たちの門出に際してご参列頂きました皆様方、これまで支えて頂きました皆様方のご健勝をお祈りし、答辞と致します。